

第1回逗子市地域自治システム逗子小学校区懇話会 会議概要

日 時：平成 25 年 5 月 22 日（水）19：00～21：00

場 所：逗子市役所 5 階会議室

出席者：（メンバー） 64 名

（アドバイザー）名和田法政大学法学部教授

（市）平井市長、小田副市長、平野経営企画部長、谷津経営企画部次長、廣末企画課長、仁科企画係長、稲井主事、森本市民協働部担当部長、細野市民協働課専任主査、木下市民協働コーディネーター

1. 開会（廣末企画課長）

- 市長挨拶
- 名和田アドバイザー紹介
- 職員紹介

2. 懇話会の趣旨について（廣末企画課長）

- 懇話会の目的
- 今後の予定
- 検討する内容及び今後の進め方等

3. 新しい地域自治の仕組みについて

- 新しい地域自治の仕組みを導入する背景等
- 「ずしの新しい地域自治」の骨格（案）
- 質疑応答

（メンバー）新しい地域自治の仕組みを導入する背景として、少子・高齢化やひとり暮らし高齢者の増加、市の財政の縮小と説明していた。このうち市の負担を減らすという部分については理解ができたが、そのほかの部分についてはどう解決していくのか。具体的に教えてほしい。

（市長）具体的にどうするのかは、市の方で方針を示すのではなく、それぞれの地域で何を連携して取り組んでいくのかをこれからみなさんと話し合って決めていただく。ただし、現時点で言えるのは災害時要援護者の関係である。大災害が起こった際、市の職員が地域に駆け付けるのは限界があるので、地域のなかでお互いに支え合い、命を守る必要がある。また、子育てについては、子育てサロンのようなものを地域で運営すれば、高齢者と子どもたちがふれあいながら、より豊かに、安心して生活できるようになるのではないか。すでにそのような活動は始まっているし、今まで自治会でできていた課題をあえて協議会に

移す必要はないが、連携すればできることを見つけ、取り組んでいただきたい。

(メンバー) 協議会ができると、権限や責任が付与されるので、相当の運営能力も必要になると思われる。そうすると、地域の負担が増えるのではないか。市がどのようなサポートをしてくれるのか。

(市長) 確かに協議会を設立したときに、誰が運営するのかは大きな課題である。池子小学校区や久木小学校区には連合会有り、長い歴史の中で取り組みが進んでいる。しかし、逗子小学校区には連合組織がないので、これを機に、どういう形であれば連携していけるのか検討していただきたい。また、市では人的支援な支援として、地区担当職員の配置を検討している。次長をリーダーとしておいて、各部から 1 名ずつ、福祉や環境、教育など窓口となる職員を任命をする予定である。

(メンバー) 新しい地域自治の導入は、市民のほうからやりたいと言っているわけではなく、市が進めているものである。したがって、やり方よりも、導入した結果どういう効果があるというのを具体的に提示してほしい。そうすれば市民も力がでると思う。

(市長) 市に財政的なメリットがあるかについては明確にお答えできない。ただ、市の財政が厳しいなかで、例えば、市の保健師が全ての一人暮らしの方をケアできるかというところ不可能である。民生委員の方にも限界はある。そうすると、地域のなかでお互いに見守り合うという対応が求められるのではないか。財政的なメリット云々よりも、まずは少子高齢化社会のなかで、地域で安心して暮らせるための仕組みとして、横のつながりが必要である。

今、すでに色々な活動をしていただいているが、ただ、それが共有できていない。お互いが知り合って、ノウハウを共有し、色々な連携が広がることでよりよい暮らしにつながっていく。

(メンバー) この会場を見渡しても若い方が少ないのが気になる。30 年後を見据えたときに、やはり重要になってくるのは若い世代である。

(市長) この校区が一番若い方の参加が多く、私は大変うれしい。この場合は、制度をどうやったら導入できるかを議論する場だが、協議会に移行した際には、より若い方、中学生や高校生の参加もありうると思う。

(メンバー) メンバーに下桜山交友会がはいってないのはなぜか。

(事務局) お声掛けしたところ、今回は都合がつかずご参加いただけなかった。

(メンバー) 地域主権推進大綱が平成 24 年 11 月に閣議決定されたとあるが、この新しい地域自治の導入は全国的に展開されているのか、それとも逗子が先進的なのか。

(市長) 他市の事例については、名和田先生のご専門なので後でご説明いただけると思うが、全国各地で同様の取り組みがはじまっているところである。確かに財政が厳しいのは誰しも認めることだが、受け止め方として市から押し付けというのではなく、もともとは「住民自治」、自分たちのまちは自分でつくるということ、それをめざしているのが新しい地域自治の導入である、と前向きにとらえていただきたい。それが広がっていくことで、地域がもっと豊かになっていくことをめざす、これこそ地方自治のあるべき姿と考えている。

4. 「都市内分権」の基礎知識 (名和田アドバイザー)

5. グループでの意見交換「小学校区でつながれば、できそうなこと」

○発表

(グループ5)

高齢者と小さな子どもが座って集えるようなサロンみたいなところがあれば、みんな安心できるのではないか。また、大人も小学校で遊べるようになれば楽しい。

(グループ9)

はじめは小学校区でということに違和感があったが、防犯などの取り組みについては広範囲で行ってもよいのではと思った。

○名和田アドバイザー講話

皆さんのご意見は建設的で、なるほどとうなずけることが多々あった。また、普遍的な意見もあった。

6. その他

○次回以降の日程について

第2回は6月12日(水)、第3回は7月4日(木)、第4回は8月8日(木)。時間帯は19:00～21:00で場所は市役所5階会議室。